

東京大学国際高等研究所ニューロインテリジェンス国際研究機構  
「科研費・国際先導」特任研究員（特定有期雇用教職員）募集要項

東京大学高等研究所に拠点を置くニューロインテリジェンス国際研究機構（WPI-IRCN）では、国際「社会脳」ネットワーク育成に関する新規プロジェクトに参画する、高い意欲と情熱を有する特任研究員を募集しています。対象分野は、神経生物学／発達神経科学／社会神経科学または及び知能ロボット工学／数理神経科学です。

昨年、当機構は、世界的な学際的連携を一層促進することを目的として、文部科学省が支援する研究助成制度「国際先導研究」に採択されました。本公募では、日本国外の5拠点のうちのひとつの国際的パートナーと共同研究を行う研究者を募集します（各研究テーマおよび連携拠点については後述します）。

IRCNは、脳の発達とその障害の理解に焦点を当て、革新的な人工知能（AI）の創出および疾患の予測・予防への応用を推進することを目的として、2017年10月に文部科学省の「世界トップレベル国際研究拠点形成事業（WPI）」の一環として設立されました。WPIの枠組みのもと、IRCNは、世界各国から優れた研究者を日本および海外のサテライトラボへ招へいするための、国際的な研究・運営のためのエコシステムを構築してきました。IRCNは、国籍やバックグラウンドを問わず多様な研究者を積極的に受け入れ、支援するとともに、学際性と国際的影響力を兼ね備えた、独創的で野心的な最先端研究の実施を奨励しています。IRCNに関する詳細については、公式ウェブサイト <https://ircn.jp/en/> をご覧ください。

IRCNは、国籍や性別を問わず、資格を有するすべての候補者を歓迎し、偏見の排除に積極的に取り組んでいます。募集要項は以下の通りです。

1	職名及び人数	特任研究員 最大5名
2	契約期間	2026年9月1日（開始日応相談）から1年間 ただし、年度をまたがる雇用契約となるため、2027年3月31日をもって一旦任期満了とするが、同年4月1日より残期間について契約を更新する。 更新は、従事している業務の進捗状況、契約期間時の業務量、勤務成績、勤務態度、健康状況等を考慮のうえ判断する。
3	試用期間	採用日から14日間
4	就業場所	5つの国際提携研究室（下記参照）のいずれか、および東京大学高等研究所 ニューロインテリジェンス国際研究機構 （〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1） 変更の範囲：原則同一部局内
5	業務内容	採択された候補者は、『国際「社会脳」ネットワーク育成』の枠組みの下、若手研究者として国際共同研究活動のひとつに参加することになります。そのため、応募の際は、希望するプロジェクトおよびラボの所在地を明記してください。  (1) ボストン小児病院 / ハーバード大学（米国）： <a href="https://research.childrenshospital.org/research-units/nelson-laboratory-research/">https://research.childrenshospital.org/research-units/nelson-laboratory-research/</a> <a href="https://henschlab.mcb.harvard.edu/">https://henschlab.mcb.harvard.edu/</a> (2) CNR Istituto di Neuroscienza（イタリア）： <a href="https://www.cnr.it/en/institute/061">https://www.cnr.it/en/institute/061</a> (3) エコール・ノルマル・シュペリウール（フランス）： <a href="https://lscp.dec.ens.fr/en">https://lscp.dec.ens.fr/en</a> (4) 南洋理工大学（シンガポール）： <a href="https://www.ntu.edu.sg/empower">https://www.ntu.edu.sg/empower</a> (5) IIT（イタリア）： <a href="https://www.iit.it/it/web/cognitive-architecture-for-collaborative-technologies/home">https://www.iit.it/it/web/cognitive-architecture-for-collaborative-technologies/home</a>  以下に候補となるプロジェクトの一覧を示します。

	<p><u>(a) 臨界期を対象とした介入法の探索 - 神経多様性の理解</u>  [主要拠点：ボストン小児病院、ハーバード大学（米国）]  -例：生後早期の逆境や希少疾患が社会的脳の発達に与える影響の解明  -例：臨界期のメカニズムおよび治療のための再活性化に関する理解の深化への貢献</p> <p><u>(b) 社会的脳の発達の基礎 — 典型的および非典型的な発達経路</u>  [主要拠点：CNR神経科学研究所（イタリア）]  -例：健全な社会的脳の発達における主要な分子的・細胞的基盤の解明  -例：レジリエンスに焦点を当てた統合的研究への貢献</p> <p><u>(c) 発達初期における社会的相互作用の神経メカニズムの解明—脳のレジリエンスを育むために</u>  [主要拠点：高等師範学校（ENS） / フランス国立科学研究センター（CNRS）（フランス）または及び南洋理工大学（シンガポール）]  -例：AIおよびウェアラブル技術を用いた乳児と養育者の相互作用中の脳活動の測定と、言語発達への影響の解明  -例：異文化における社会的認知の解明に寄与し、早期かつ個別化された介入の実現に貢献</p> <p><u>(d) 介入が社会的コミュニケーションにどのように寄与するかのモデル化 — ロボットは私たちの心を読むことができるのか？</u>  [主要拠点：イタリア技術研究所（イタリア）]  -例：社会的コミュニケーションを促進するためのロボットを活用した介入手法の設計  -例：社会的認知を探求するためのヒトとロボットの相互作用パラダイムの確立への貢献</p> <p><u>注意事項</u>  上記プロジェクトへの参加にあたり、採択された候補者は、記載された5つの国際連携拠点の中からひとつを選択する必要があります。</p> <p>変更の範囲：配置換、兼務及び出向を命じることがある。</p>	
6	就業時間	専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分勤務したものとみなされる。
7	休日	土・日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
8	休暇	年次有給休暇、リフレッシュ休暇、特別休暇 等
9	賃金等	給与：東京大学規定に基づく年俸制。月額給与は、業績・成果手当を含め約40万～50万円。 （資格、能力、経験等に応じて決定する） 旅費支援（詳細は応相談）。 退職金や賞与はありません。
10	加入保険	法令の定めにより文部科学省共済組合、雇用保険、労災保険に加入
11	応募資格	（必須） - 博士号取得後、間もない若手研究者：学位取得後8年未満 - 社会神経科学、神経生物学または及び情報科学・工学分野における十分な経験 - 英語による円滑なコミュニケーション能力

12	提出書類	<p>(1) 英文カバーレター：上記のプロジェクトのうち、主にどのプロジェクトに取り組みたいかを明記し、その動機を明確に説明してください。また、他のプロジェクトにどのように貢献できるかについても記述することを推奨します。</p> <p>(2) 英文履歴書          東京大学統一履歴書フォーマットをダウンロードして使用してください。  <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/jobs.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/jobs.html</a></p> <p>(3) 論文リスト</p> <p>(4) 推薦状2通</p>
13	提出方法	<p>応募書類は、14に記載の応募締切日までに、以下のアドレスへ提出してください。          書類はすべて1つのPDFファイル（10MB以下）にまとめてください。          ファイル名は「名_姓_(プロジェクト番号).pdf」としてください。（例：Taro_Todai_5.pdf）          提出された書類は返却いたしません。応募書類の受領後、5営業日以内にメールにて受領通知をお送りします。</p> <p>宛先：jinji.ircn#gs.mail.u-tokyo.ac.jp          （お送りいただく際は、#を@に置き換えてください）</p>
14	応募締切日	<p>2026年8月3日(月) 日本時間17:00 ※ただし採用者が決定次第、募集終了。          書類選考の上、合格者に対し面接（来学またはオンライン）を予定。          書類選考を通過された方には、面接についてメールでご連絡いたします。</p>
15	問い合わせ先	「13 提出方法」をご参照ください。
16	募集者名称	国立大学法人東京大学
17	受動喫煙防止措置の状況	敷地内禁煙（屋外に喫煙所あり）
18	その他	<p>(1) 提出された書類は返却いたしません。個人情報 は東京大学のプライバシーポリシーに従い慎重に取り扱われ、採用選考プロセスのみに使用されます。</p> <p>(2) 選考にかかる旅費は支給しません。</p> <p>(3) 勤務条件の詳細については、「東京大学特定有期雇用教職員の就業に関する規程」をご覧ください。  <a href="https://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/rules_main.html">https://www.u-tokyo.ac.jp/en/about/rules_main.html</a></p> <p>(4) 東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>(5) 雇用期間中に、外国の政府機関、企業、大学と個人として契約している場合や、外国政府等から金銭その他の重大な利益を得ている場合、外為法の定めにより、一定の技術の共有が制限され、結果として本学の学術・管理職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、当該契約・利益については、職務に必要な技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p>